



アイドラーストップキット

72"後部排出ロータリーモア、Groundsmaster®3200または3300シリーズトラクションユニット

モデル番号 161-5096

取り付け要領

取り付け

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. アタッチメントを降下させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. カuttingユニットをトラクションユニットから取り外す。トラクションユニットのオペレーターマニュアルを参照すること。

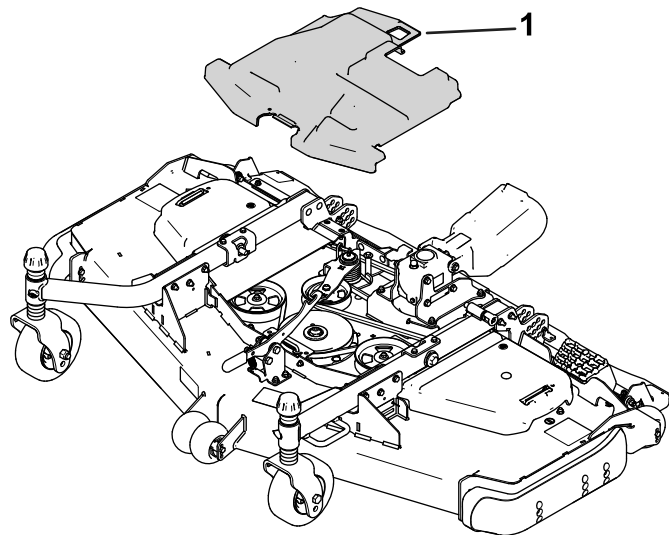
2

既存のアイドラーストップの取り外し

必要なパーツはありません。

手順

1. Cuttingユニットの上部からベルトカバー (図 1) を取り外し、カバーを脇に置く。



g507449

図 1

1. ベルトカバー

2. ソケットレンチなどの工具を使って、アイドラプーリー (図 2) を駆動ベルトから遠ざけてベルトの張力を緩め、ベルトがアイドラプーリーから外れるようにする。

▲ 注意

スプリングに大きな負荷がかっている場合、人身傷害を引き起こす可能性があります。

アイドラームのトーションスプリングの張力を緩めるときは注意すること。



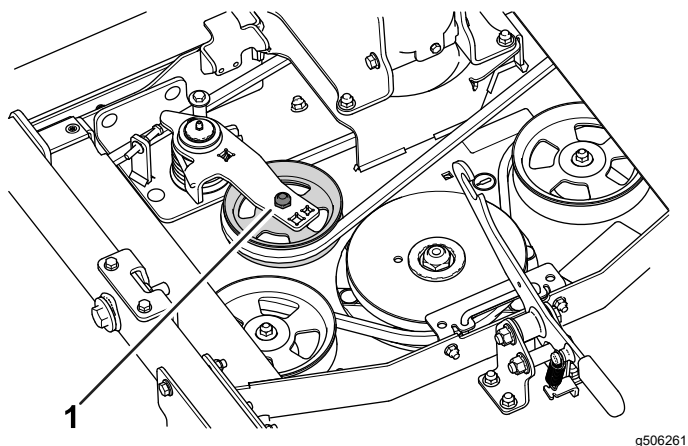


図 2

g506261

1. アイドラプーリ

3. テンショナーアセンブリをカッティングユニットに固定しているキャリッジボルトとワッシャーを取り外す(図 3)。

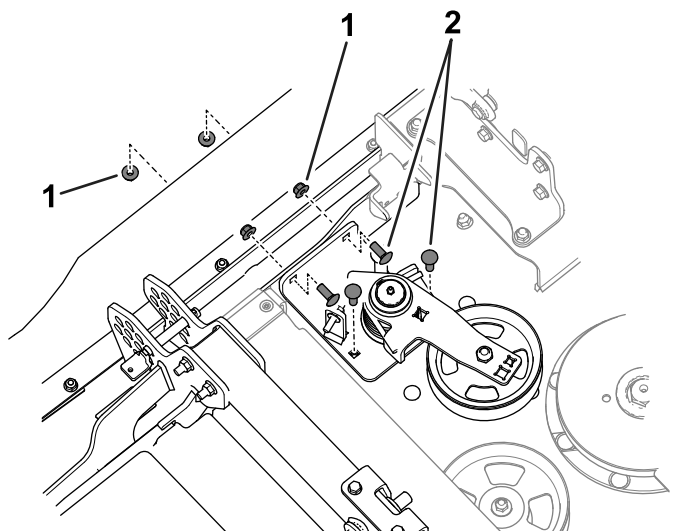


図 3

g525050

1. ナット
2. キャリッジボルト

4. アイドラーピボットプレートにクランプして、アイドラアセンブリを万力で固定する。
5. アイドラピボットプレートからショルダーボルトを取り外し、アイドラスプリングの張力を緩める(図 4)。

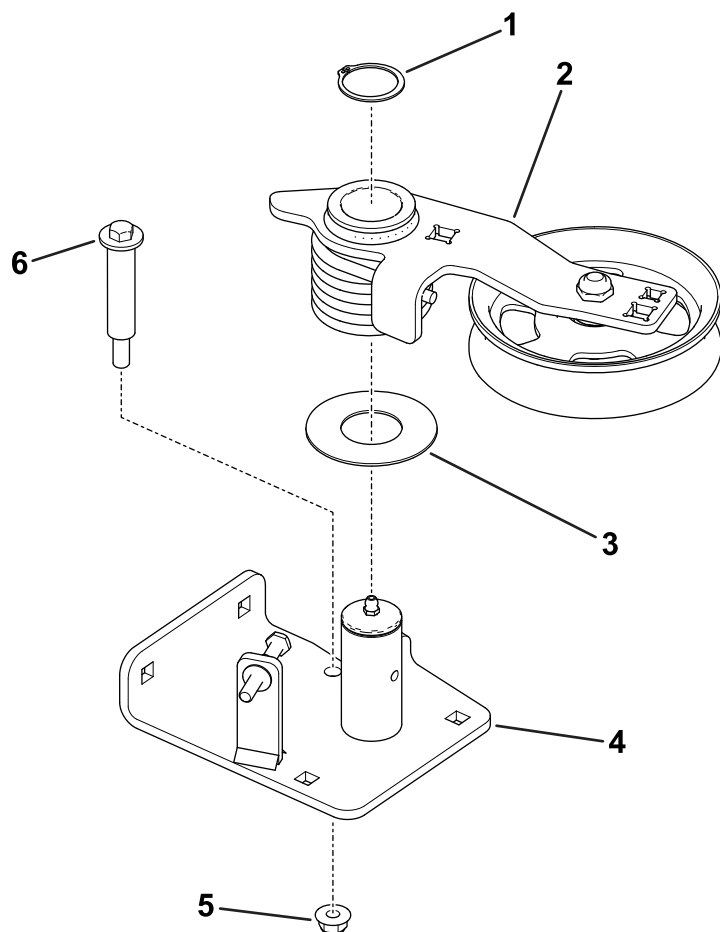


図 4

g507125

1. リテーナリング
2. アイドラーアームとスプリング
3. ワッシャー
4. アイドラーピボットプレート
5. ナット
6. ショルダーボルト

6. アイドラアームをアイドラピボットに固定している止めリングを取り外す(図 4)。

3

アイドラーストップの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	アイドラープイットアセンブリ
2	キャリッジボルト 3/8 x 1"
2	キャリッジボルト 3/8 x 1 1/4"
1	ショルダボルト
1	六角ボルト
5	フランジナット 3/8"
2	フランジナット 5/16"

手順

1. フランジナット (5/16") 2個を使って、六角ボルトを新しいアイドラープイットアセンブリに固定する (図 5)。

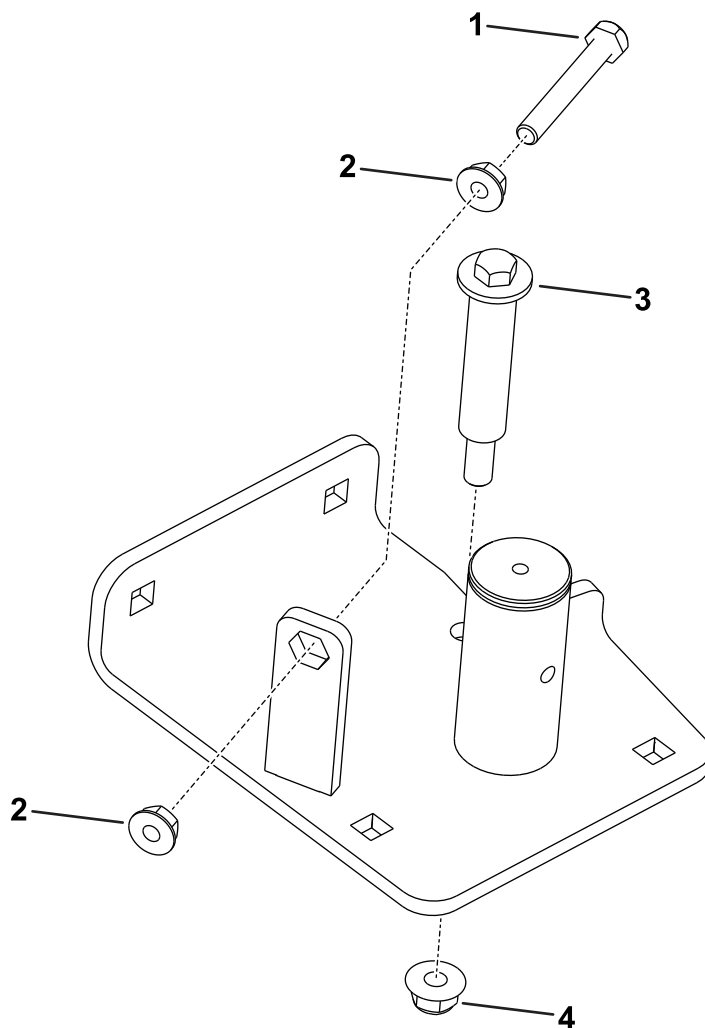


図 5

g507416

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 六角ボルト | 3. ショルダボルト |
| 2. フランジナット 5/16" | 4. フランジナット 3/8" |

2. 止めリングを使って、アイドラームとスプリングをアイドラピットに固定する。
3. アイドラープイットプレートにクランプして、アイドラアセンブリを万力に固定する。
4. 3/8"または 1/2"のドライブラチェットまたはアイドラームのプレーカーバーを使って、ショルダボルトを取り付けるのに十分なだけアイドラームを移動する (トーションスプリングに荷重を加える)。
5. フランジナット (3/8") とショルダボルトをアイドラピットプレートに取り付ける (図 5)。
ナットを4555 N·m (4.865.94kgm) で締め付け、アイドラームを解放する。
6. キャリッジボルト (3/8 x 1") 2本、およびキャリッジボルト (3/8 x 1-1/4") 2本とナット (3/8") 4個を使って、テンショナーアセンブリをカットングユニットに固定する (図 6)。

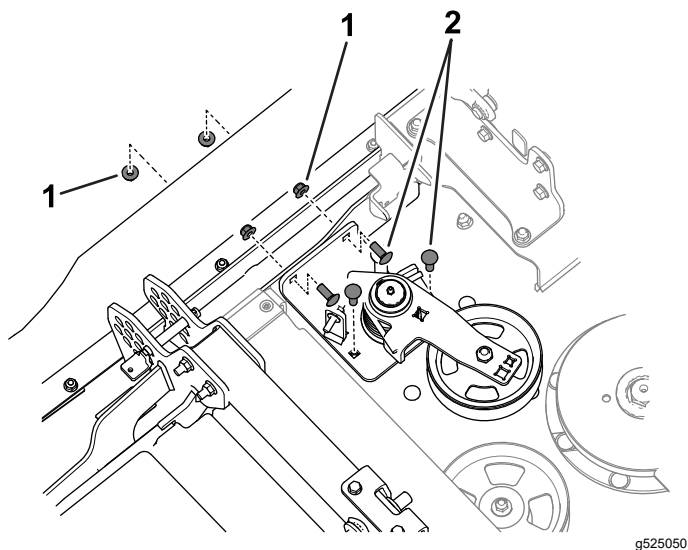


図 6

- 1. ナット
- 2. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " x 1"
- 3. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x 1 $\frac{1}{4}$ "

7. ドライブベルトをアイドラプーリに取り付ける(図 7)。

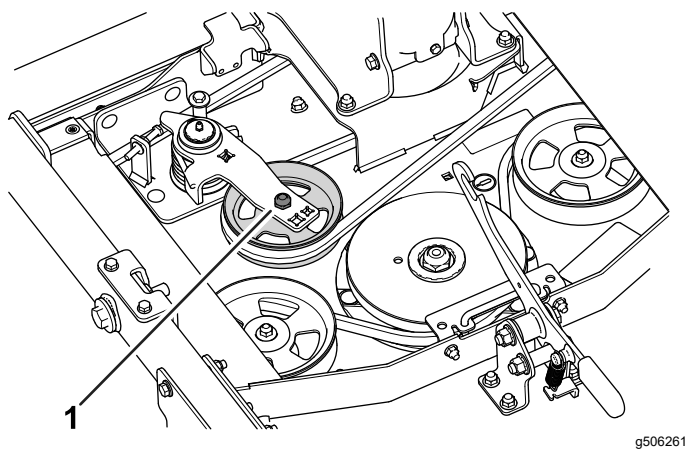


図 7

- 1. アイドラプーリ

8. 図 8に示されている寸法に、ボルトを調節する。

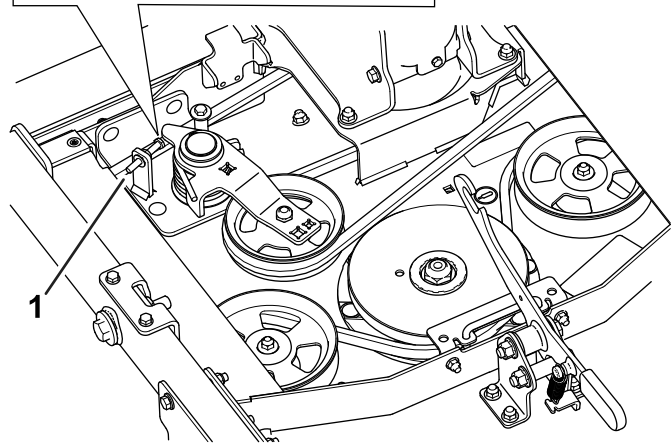
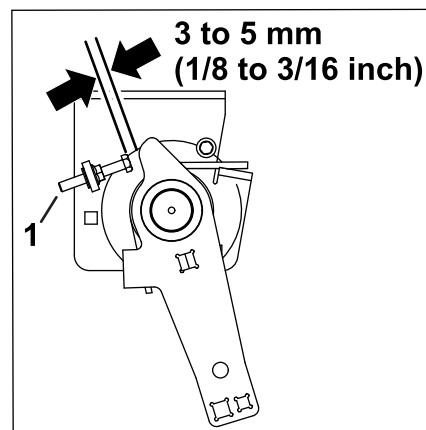


図 8

- 1. ボルト

9. ベルトカバーを取り付ける。